

第5回横浜市都市美対策審議会北仲通北部会議事録

会議名	第5回横浜市都市美対策審議会北仲通北部会
日時・場所	平成25年1月9日(水) 10:00~12:00 横浜市庁舎5階関係機関執務室3
出席者	都市美対策審議会委員：卯月部会長、野原委員、国吉専門委員 事業者：松本(森ビル株)、金城(株日本セレモニー)、川口(株吉村設計) 関係部署：小山(都心整備・みなとみらい21推進部長)、鈴木(都市再生推進課長)、奥村(都市再生推進課担当係長) 書記：齋藤(都市づくり部長)、中野(都市デザイン室長)、塚田(都市デザイン室担当課長)
欠席者	都市美対策審議会委員：関委員
概略・決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水際公園と水際広場のデザインの統一性を図る。 ・水際広場へ降りる2つの階段の配置を検討する。 ・1階と2階の動線のつながりを強化する。
議事要旨	<p>北仲通北 A-3 地区の計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区計画上に水際公園が位置付けられており、今回敷地内にある水際広場とそこに隣接する水際公園について、両方事業者が整備するのか。(卯月部会長) <ul style="list-style-type: none"> → 水際公園については、当地区の区画整理組合が整備します。水際広場については事業者が整備します。(松本氏) ・水際公園と水際広場は同時に整備されるのか。(卯月部会長) <ul style="list-style-type: none"> → 時期的にはズレると思われるが、事業全体の流れの中では近い時期に整備されます。(松本氏) ・水際公園と水際広場両方合わせて、地区計画上の水際公園としての面積等を確保しているのか。(卯月部会長) <ul style="list-style-type: none"> → 地区計画上、公園と広場は別れて規定されており、それぞれで面積が定められているので、各々基準を満たしています。公園は位置が定められているので、そこに隣接する形で事業者が広場を整備することになります。(松本氏) → 権原上で言えば、公園は区画整理組合が整備し、将来管理者の横浜市へ移管する。広場については、事業者が整備し事業者が管理する。(鈴木課長) ・今回の計画説明に水際公園は含まれるのか。(国吉専門委員) <ul style="list-style-type: none"> → 含まれません。(松本氏) ・水際公園のデザインについては、環境創造局との協議によるのか。協議はどの程度進んでいるのか。(国吉専門委員) <ul style="list-style-type: none"> → 協議はかなり進んでおり、移管のための協議に入っている。(鈴木課長) ・水際公園と水際広場のデザインが敷地境界を境に大きく変わるので違和感を感じる。利用者の視点から統一性を持ったデザインにしたほうがいい。(卯月部会長、野原委員、国吉専門委員) ・水盤が象徴的になるので、水盤や広場を囲むように2階部分デッキを作ったら魅力的になるのではないか。(卯月部会長) ・海側からの景観は大切に十分配慮されていると思われるが、一方で馬車道駅、馬車道商店街方面からどのように人を引き込んでいくかが重要な観点であると思われる。そのとき、水際公園、水際広場が一番近くで水際部分に行ける場所であり、受けの場所としてとても大切だと思われる。その重要な場所の公園と広場でデザインのつながりが切れてしまうのはどうだろうか。もっとグランドレベルのデザインを大事にしたらどうか。(野原委員) ・水際広場へ接続する2つの階段がただ設置しただけになっており、階段相互及び広場との関連性が低い。広場に対し正面性を持たせ、広場へ降りる2つの階段がうまく連携するような配置ができれば、大変魅力的な広場になるのではないか。(卯月部会長、野原委員、国吉専門委員)

(次ページへ続く)

(前ページから続き)

- ・5 ページの建物内を通る緑の動線はとりあえず繋げている感じを受けるので、強化してできるだけ開放感のある動線にしたほうがいいのではないか。(卯月部会長、野原委員、国吉専門委員)
 - カフェエリアはオープンスペースであり、カフェのなかを通りぬけることも可能です。(金城氏)
- ・1階と2階の動線が分離されているので、もう少しつながりを強化したほうがいい。(卯月部会長、野原委員、国吉専門委員)
- ・水際プロムナード沿いの水面を利用する構想はあるのか。(国吉専門委員)
 - 構想はありますが、関係当局との調整が必要です。(川口氏)
 - 回遊性と賑わいを求めるならば、水面からのアプローチは検討する価値はある。(卯月部会長)
- ・視線の通り抜けについて、ガレリアは1階部分のみでは、効果は薄いのではないか。(野原委員)
- ・動線が錯綜してはいけませんが、視線のつながりを持ちながら動線の分離ができれば、この地区らしい場所になる。(卯月部会長)
- ・会堂のデザインについて、北と南側の壁面の穴についてどのような考えでいるのか。(卯月部会長)
 - 会堂の外壁のデザインについては、内部のデザインを決めてから決めていきたいと考えているが、今回のデザインは、モダンなデザインを検討しており、光を制御していきたいと考えている。(川口氏)
- ・景観形成ガイドラインにもあるように、この地区では3層構造となるように規定されており、全体としてはレンガ調でこれまでの流れに合致しているが、一方で上部のほうは軽快になるようにしてほしい中で、楽しさ等をもっと演出できないか。(国吉専門委員)
- ・光の演出について、横浜は光の演出には昔から力を入れているので、A-3地区のみならず北仲通北地区全体で演出方法を検討してほしい。(国吉専門委員)

【欠席の関委員から事前にいただいた意見】

- ・外壁の仕上げ材としてのレンガ調の素材については、テクスチャや色彩などできる限り本物性を担保してほしい。
- ・エレベータータワー部分の大きな壁面のマッシヴな単調さ、及び会堂のファサードの取り扱いについては、もう少し検討してほしい。

